

## 令和3年度 第2回 大阪市立大学 学長選考会議 会議録

日 時 令和3年12月7日(火) 11時00分～11時30分

場 所 健康科学イノベーションセンター

出席者 外部委員(経営審議会委員):大西委員(オンライン)、土屋委員、福島委員  
内部委員(教育研究審議会委員):平田委員、櫻木委員、橋本委員

### 議 事

#### 1 学長選考対象者の所信表明について

事務局から、前回本会議の決定に基づき、10月22日付けで選考対象者宛に所信表明の提出(11月30日期限)を依頼し、11月19日に選考対象者から提出があった旨、説明がなされた。提出された所信表明の審査にあたり、福島議長より各委員の意見聴取を行った。

なお、各委員の意見は以下のとおりである。

- ・市立大学の歴史を踏まえた上で、ご自身が取り組みたいことについて、苦心して書かれたのが分かる。誠実な人柄がにじみでていて、はったりではなく、きちんとやりますということが書かれていて、立派な所信だと思う。拝見して、ますます次期学長に相応しい方と思った。
- ・市立大学のこれまでの歴史、大切にしてきた理念をしっかりと盛り込んだ上で、それらをどのように新大学につなげていくかということを非常にわかりやすく記載いただいている、大変結構だと思う。
- ・今までの市立大学の歴史と伝統を守りながら、今後、大阪公立大学との整合性を図って運営していくということを記載いただいております、良い所信だと思う。
- ・皆さまのご意見の通りで、私も非常に高く評価している。市立大学の学長として適任だと考える。
- ・市立大学の学長として、市立大学の理念や在学生のアイデンティティに気を遣っていた一方、勇気があるなと思ったのは、「良いところは伸ばし、効果の薄いところは改める」というスタンスで取り組みたい」と記載いただいているところ。市立大学を大切にしますというだけでなく、大阪公立大学として前に進むんだという熱意を感じた。

#### 2 学長予定者の選出について

前回の本会議の議論と選考対象者から提出された所信表明の審査を踏まえ、様々な角度から慎重に選考を行った結果、選考委員全員一致で、辰巳砂昌弘氏が次期学長に相応し

いと決定するに至った。

その後、事務局から選考結果の学内公表及び学外公表にかかるスケジュール等について説明があり、選考結果の学外公表にあたり大阪公立大学の戦略的な広報につながるよう工夫することについて意見交換が行われた。

**【備考】**

オンライン会議システムを併用した選考会議は、適宜的確な意見交換が互いにできる状態であることを確認しており、終始異状なく議題の審議を終了した。